

(様式第9)

名大医総第147号  
平成20年10月10日

厚生労働大臣 殿

名古屋大学医学部附属病院長  
松尾清一

名古屋大学医学部附属病院病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	30人	医科23名、歯科7名
--------	-----	------------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	244人	242人	441.2人	看護業務補助	25人	診療エックス線技師	人
歯科医師	8人	24人	28.8人	理学療法士	9人	麻酔臨床検査技師	64人
薬剤師	44人	9人	50.7人	作業療法士	4人	衛生検査技師	1人
保健師	人	人	人	視能訓練士	4人	検査その他の	人
助産師	21人	人	21人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	793人	18人	805.8人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	1人	2人	2.2人	栄養士	人	その他の技術員	人
歯科衛生士	1人	人	1人	歯科技工士	1人	事務職員	110人
管理栄養士	5人	人	5人	診療放射線技師	49人	その他の職員	80人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	775.9人	14.6人	790.5人
1日当たり平均外来患者数	2144.6人	68.3人	2212.9人
1日当たり平均調剤数		11,842	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	無	人
胎児心超音波検査	無	人
インプラント義歯	有	8人
顎顔面補綴	無	人
顎関節症の補綴学的治療	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	無	人
CTガイド下気管支鏡検査	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	無	人
三次元形状解析による顎面の形態的診断	無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	無	人
成長障害のDNA診断	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	無	人
神経変性疾患のDNA診断	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	無	人
重粒子線治療	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	無	人
活性化Tリンパ球移入療法	無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有	2人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	無	人
ケラチン病の遺伝子診断	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	無	人
超音波骨折治療法	無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	無	人
膀胱水圧拡張術	有	2人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	無	人
腹腔鏡下直腸固定術	無	人
骨移動術による関節温存型再建	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	無	人
先天性難聴の遺伝子診断	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有	163人
カフェイン併用化学療法	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	38人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	27人
・多発性硬化症	54人	・ウェグナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	73人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	59人
・全身性エリテマトーデス	174人	・多系統萎縮症	22人
・スモン	9人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	72人	・膿疱性乾癬	3人
・サルコイドーシス	86人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	43人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	180人	・重症急性肺炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	72人	・特発性大腿骨頭壞死症	88人
・結節性動脈周囲炎	14人	・混合性結合組織病	10人
・潰瘍性大腸炎	260人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	36人	・特発性間質性肺炎	5人
・ビュルガー病	37人	・網膜色素変性症	32人
・天疱瘡	13人	・プリオント病	4人
・脊髄小脳変性症	37人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	187人	・神経線維腫症	24人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	58人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	204人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縫靭帯骨化症	24人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	3人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	脳神経外科・生理機能検査 週 1回 血液内科・血液検査 年 5回 解剖・病理室 年 20回	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 33 例	剖検率 8.3 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
白血病に選択性を有する分子標的治療法ならびにその評価法の開発	直江 知樹	血液・腫瘍内科学	9,100,000	(補)文部科学省 委
ポリグルタミン病の病態解明とそれに基づく治療法の開発	祖父江 元	神経内科学	34,000,000	(補)文部科学省 委
ポリグルタミン病の病態抑止療法の開発	祖父江 元	神経内科学	25,900,000	(補)日本学術振興会 委
骨形成促進を目的とした組織工学技術の確立—脚延長モデルでの骨形成効率化の検討—	石黒 直樹	整形外科学	3,800,000	(補)日本学術振興会 委
前駆細胞移植による血管再生療法の分子基盤探索と新規臨床応用に向けた展開研究	室原 豊明	循環器内科学	7,500,000	(補)日本学術振興会 委
尿細管間質障害の新たなバイオマーカー及び治療標的としてのミッドカインの基礎的研究	松尾 清一	腎臓内科学	4,700,000	(補)日本学術振興会 委
siRNAを用いた新しい遺伝子治療戦略—炎症制御による血管内膜肥厚抑制効果—	古森 公浩	血管外科学	3,700,000	(補)日本学術振興会 委
イメージング機能付ナノデバイスリポソームを用いた分子医療開発と臨床試験への展望	水野 正明	遺伝子治療学	5,200,000	(補)日本学術振興会 委
発達・加齢・遺伝性網脈絡膜疾患の病態解明と新しい治療	寺崎 浩子	眼科学	4,700,000	(補)日本学術振興会 委
アジア系人種における腎機能評価のための国際学術調査研究	松尾 清一	腎臓内科学	3,800,000	(補)日本学術振興会 委
孤発性ALSの動物モデルの開発	田中 章景	神経内科学	8,500,000	(補)日本学術振興会 委
白血病残存に関わる分子細胞メカニズムの解明とその克服	直江 知樹	血液・腫瘍内科学	7,600,000	(補)日本学術振興会 委
小児再生不良性貧血の造血障害メカニズム—骨髄間葉系細胞の関与—	小島 勢二	小児科学	3,900,000	(補)日本学術振興会 委
色素異常症の病態解明により明らかにするメラニン生成調節機構の研究	富田 靖	皮膚病態学	11,600,000	(補)日本学術振興会 委
転移性脳腫瘍検出と治療に有用な高精度3次元スピンドルコ一新規磁気共鳴撮像法の確立	長繩 慎二	量子医学	7,700,000	(補)日本学術振興会 委
肝門部胆管癌からの胆管癌幹細胞の分離と網羅的遺伝子解析に基づく分子標的治療の開発	柳野 正人	腫瘍外科学	6,900,000	(補)日本学術振興会 委
上皮間葉転換誘導因子を標的とする卵巣癌の抗癌剤感受性増強と転移抑制治療法の開発	吉川 史隆	産婦人科学	5,900,000	(補)日本学術振興会 委
情動とストレス反応性の脳科学	飯高 哲也	精神生物学	1,100,000	(補)日本学術振興会 委

網膜色素変性の中型モデル動物(ロドプシン遺伝子変異ウサギ)作出と視機能解析	近藤 峰生	眼科学	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会
肝細胞増殖因子(HGF)によるポリグルタミン病の治療開発	足立 弘明	神経内科学	1,200,000	(補) 委	日本学術振興会
超高解像度光干渉断層計の開発、評価と眼底疾患への応用	伊藤 逸毅	眼科	2,700,000	(補) 委	日本学術振興会
EBV関連リンパ増殖異常症の新分類画定を目指した臨床病理学的、生物学的研究	中村 栄男	臓器病態診断学	3,000,000	(補) 委	日本学術振興会
心不全に関与するnon-codingRNAの探索および機能解析	井澤 英夫	循環器内科学	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会
Notchシグナル制御による血管新生、再生療法の開発	竹下 享典	循環器内科学	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会
幹細胞誘導遺伝子導入による線維芽細胞由来幹細胞を用いた肺再生医療の構築	橋本 直純	呼吸器内科	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会
気道リモデリングの予防における標的細胞と分子薬理療法	久米 裕昭	呼吸器内科	2,700,000	(補) 委	日本学術振興会
糖尿病性腎症とペイシジン-VEGF/NOシグナルネットワーク	湯澤 由紀夫	腎臓内科学	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会
先天性胆道拡張症の胆管組織における神経構造ならびに神経伝達物質の研究	安藤 久實	小児外科	2,200,000	(補) 委	日本学術振興会
人工心肺を用いない心拍動下僧帽弁形成術式の開発	碓氷 章彦	心臓外科	1,900,000	(補) 委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂リスク解析システムの開発	宮地 茂	脳外科	2,300,000	(補) 委	日本学術振興会
遺伝子移入骨髄幹細胞とコンドロイチナーゼABCを利用した脊髄再生	松山 幸弘	リウマチ学	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会
骨組織再生を促進させる細胞治療技術の確立—培養骨髄細胞と多血小板血漿の移植—	鬼頭 浩史	整形外科	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会
卵巣癌・腹膜癌を標的とした新規がんウイルス療法の開発	那波 明宏	産科婦人科	2,300,000	(補) 委	日本学術振興会
遺伝子異常モデルマウスを用いた内耳血管条障害の解明と保護作用	曾根 三千彦	認知・言語医学	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会
内外リンパの画像化と内耳病態の検索	中島 務	耳鼻咽喉科	2,100,000	(補) 委	日本学術振興会
高分子半透膜カプセルを用いた神経栄養因子産生細胞の眼内移植	中村 誠	眼科学	1,800,000	(補) 委	日本学術振興会
脾胆管合流異常の症状発現機序に基づく新治療法の開発	金子 健一朗	小児外科	2,500,000	(補) 委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌におけるCD109の発現と診断的意義に関する研究	光藤 健司	口腔外科	1,100,000	(補) 委	日本学術振興会

MidkineRNAinterference関節内投与による関節炎治療	石黒 直樹	整形外科学	1,400,000	(補) 委	日本学術振興会
軸索伸長速度を調整するマスター遺伝子の決定とそれを活用した軸索再生促進	平田 仁	手の外科学	1,500,000	(補) 委	日本学術振興会
磁場と磁気ナノ粒子を用いた細胞シート工学とその再生医療への応用開発研究	室原 豊明	循環器内科学	3,300,000	(補) 委	日本学術振興会
上皮間葉系細胞転換(EMT)分子(NOTCH)を標的にした固体癌制御の研究	長谷川 好規	呼吸器内科	2,000,000	(補) 委	日本学術振興会
古細菌プロテアソームによる神経変性疾患の治療	祖父江 元	神経内科学	2,300,000	(補) 委	日本学術振興会
低酸素培養による歯髄幹細胞の分画の選択培養とそのキャラクタライズ	上田 実	顎顔面外科学	1,700,000	(補) 委	日本学術振興会
上皮間葉転換に基づく細胞膜型ペプチド分解酵素を分子標的とした卵巣癌腹膜転移の抑制	梶山 広明	産科婦人科	4,900,000	(補) 委	文部科学省
脂肪細胞由来因子の心血管リモデリング制御機構の解明と治療への応用	柴田 玲	循環器内科学	10,600,000	(補) 委	文部科学省
骨膜延長法と高膨張性ポリマーゲルを応用した顎骨再生に関する研究	小田 知生	口腔外科	800,000	(補) 委	文部科学省
カベオリン発現ウイルスベクター・リポソームを用いた口腔メラノーマの遺伝子治療	山本 憲幸	口腔外科	800,000	(補) 委	文部科学省
DFS70/LEDGF抗原の表皮細胞と皮膚疾患における役割について	杉浦 一充	皮膚病態学	1,300,000	(補) 委	文部科学省
プロテオーム解析による統合失調症関連分子の同定	永井 拓	薬剤部	2,400,000	(補) 委	文部科学省
院内感染によって付加的に発生する医療費の評価手法に関する研究	小野寺 睦雄	救急・集中治療部	800,000	(補) 委	文部科学省
乳癌の拡がり診断:3T-MRIを用いた表在用RVSシステムの臨床応用	澤木 明子	放射線科	1,800,000	(補) 委	文部科学省
組織工学的手法とパルス電磁場刺激を応用した顎骨再生に関する研究	八島 明弘	口腔外科	1,300,000	(補) 委	文部科学省
糖尿病性腎症に対する新規創薬ターゲットの同定:網羅的pathway・転写機構解析	安田 宜成	腎臓内科学	1,380,000	(補) 委	日本学術振興会
生活習慣病における酸化ストレス依存性血管前駆細胞制御機構の解明	坂東 泰子	循環器内科学	1,330,000	(補) 委	日本学術振興会
チロシンキナーゼ阻害剤の至適併用療法を予測するサロゲートマーカーの確立	清井 仁	難治感染症部	3,800,000	(補) 委	文部科学省
ハーセプチン結合マグネットリポソームを用いた乳癌温熱免疫療法の効果発現機序の解明	今井 常夫	乳腺・内分泌外科	3,000,000	(補) 委	日本学術振興会
脳腫瘍高発現分子合成ペプチドによる賦活化樹状細胞を用いた標的細胞療法の臨床応用	若林 俊彦	遺伝子・再生医療センター遺伝子治療プロジェクト	5,200,000	(補) 委	日本学術振興会

組織工学的手法をくみこんだ骨延長法による下顎骨再建	日比 英晴	遺伝子・再生医療センター再生医療プロジェクト	2,400,000	補委	日本学術振興会
ドーパミン関連神経疾患モデルにおけるtPAの動態と機能解析	山田 清文	薬剤部	8,400,000	補委	日本学術振興会
レビー小体型痴呆の診断治療に関する総合的研究	梅垣 宏行	老年科	1,100,000	補委	日本学術振興会
婦人科癌の抗癌剤耐性における細胞表面ペプチダーゼの機能解析と臨床応用	柴田 清住	産科婦人科	1,000,000	補委	日本学術振興会
遺伝子欠損マウスを用いた加齢による感音難聴に対するNOの関与の解明と治療への応用	寺西 正明	耳鼻咽喉科	600,000	補委	日本学術振興会
日本の医学部教育における6年間統合型行動科学教育プログラムの開発に関する研究	鈴木 富雄	総合診療部	900,000	補委	日本学術振興会
共焦点内視鏡を用いた胃病変のリアルタイム組織診断と背景粘膜に関する研究	丹羽 康正	消化器内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
慢性脾炎発症におけるイオン、水チャネルの役割	洪 繁	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
PPARγアゴニストおよびMMP阻害薬による心筋線維化抑制作用と不整脈抑制作用	因田 恒也	循環器内科	1,700,000	補委	日本学術振興会
アマメシバ抽出物を用いた閉塞性細気管支炎発症機序の解明	今泉 和良	呼吸器内科	2,100,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞、脳梗塞におけるストレス応答性向血栓遺伝子の発現機構の解明とその制御	山本 晃士	輸血部	1,500,000	補委	日本学術振興会
白血病の発症、進展に及ぼすNucleophosmin遺伝子変異の分子機構の解析	清井 仁	難治感染症部	1,400,000	補委	日本学術振興会
小児期EBウイルス関連疾患におけるEBNA1特異的細胞性免疫応答の研究	伊藤 嘉規	小児科	1,700,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞を標的としたヒト乳癌治療法の開発	小田 高司	乳腺・内分泌外科	700,000	補委	日本学術振興会
胆管閉塞時にみられるパイエル板萎縮のメカニズムについて	横山 幸浩	消化器外科一	1,600,000	補委	日本学術振興会
マクロとミクロから見た急性尿細管壊死の病態解明、治療	山本 徳則	泌尿器科	900,000	補委	日本学術振興会
子宮体癌の新規予後規定分子IDOの同定・機能解析に基づくオーダーメイド治療の開発	井笠 一彦	産婦人科学	800,000	補委	日本学術振興会
睡眠時の鼻呼吸閉塞に対する病態生理的解明—nasalcycleの検討—	中田 誠一	耳鼻咽喉科	500,000	補委	日本学術振興会
機能性ヒトリコンビナントミニコラーゲン開発の基礎的研究	服部 宇	歯科口腔外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
癌組織の血管新生、転移における変異型p53—FGF-1経路の影響	野本 周嗣	消化器外科二	1,700,000	補委	日本学術振興会

マイクロアレイを用いたセレウス菌の病原遺伝子保有状況ならびにその発現解析	鳥居 啓三	中央感染制御部	2,600,000	補委	日本学術振興会
脂肪細胞を用いた腎再生医療の新展開	丸山 彰一	腎臓内科	2,100,000	補委	日本学術振興会
CIDPにおける軸索障害機序の解明:Tag-1を中心に	服部 直樹	神経内科	2,400,000	補委	日本学術振興会
一酸化窒素、活性酸素制御を介する血管内分泌及び血管老化制御による動脈硬化退縮療法	林 登志雄	老年科	2,100,000	補委	日本学術振興会
モノクローナル抗体によるTMA治療モデルの確立	松下 正	血液内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
PET／CTによる動脈のアテローム硬化病変の予測診断に関する臨床的研究	加藤 克彦	放射線科	2,200,000	補委	日本学術振興会
慢性腎不全下における肝切除後肝再生のメカニズムについて	西尾 秀樹	腫瘍外科学	1,800,000	補委	日本学術振興会
胆道癌におけるHedgehogシグナル系の発現解析	安部 哲也	消化器外科一	1,800,000	補委	日本学術振興会
ラット辺縁系てんかんモデルにおける細胞療法と併用した定位的脳深部刺激療法の開発	梶田 泰一	脳神経外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
大網由来幹細胞の展開	鳥山 和宏	形成外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
敗血症のリスク因子の解明と早期診断法の確立に関する研究	真弓 俊彦	集中治療部	1,100,000	補委	日本学術振興会
組織工学的手法を用いた瘢痕組織の改善促進に関する研究	西口 浩明	歯科口腔外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
臨床判断能力を涵養する外来診療教育プログラム開発	伴 信太郎	総合診療部	1,100,000	補委	日本学術振興会
骨粗鬆症に対する幹細胞を用いたアンチエイジング治療法の開発	山田 陽一	遺伝子・再生医療センター再生医療プロジェクト	1,600,000	補委	日本学術振興会
エオジン好性核内封入体(NIHID)の原因遺伝子の探索・同定	小池 春樹	神経内科学	2,500,000	補委	日本学術振興会
新規薬物依存タンパクshatiの生理機能解析	新田 淳美	薬剤部	1,100,000	補委	日本学術振興会
「歯のドック」歯・歯周再生療法の開発	日比 英晴	遺伝子・再生医療センター再生医療プロジェクト	1,800,000	補委	日本学術振興会
肺気道リモデリングにおけるメカニカルストレスの役割	伊藤 理	呼吸器内科	5,100,000	補委	文部科学省
着床成立に必要な子宮内膜細胞の機能的・形態学的分化における細胞内情報伝達系の解析	岩瀬 明	周産母子センター	600,000	補委	文部科学省
転写因子AP-2による卵巣癌の抗癌剤耐性克服メカニズム及び遺伝子治療への展開	炭電 誠二	周産母子センター	900,000	補委	文部科学省

白血病関連遺伝子産物のPMLアセチル化の意義	早川 文彦	血液内科	1,500,000	補委	文部科学省
イノシン特異的mRNA切断によるADAR1基質同定と遺伝性対側性色素異常症病態解明	河野 通浩	皮膚科	1,200,000	補委	文部科学省
悪性胸膜中皮腫の細胞生物学的解析と新規治療戦略の開発	宇佐美 範恭	呼吸器外科	1,600,000	補委	文部科学省
幹細胞移植モザイク作成による上肢先天異常の治療	建部 将広	整形外科	1,000,000	補委	文部科学省
加齢黄斑変性に対する光線力学療法における機能形態的解析	石川 浩平	眼科	1,500,000	補委	文部科学省
大網の創傷治癒における役割	八木 俊路朗	形成外科	1,400,000	補委	文部科学省
口腔粘膜由来線維芽細胞を用いた細胞治療の基礎的研究	蜷沢 克己	歯科口腔外科	1,200,000	補委	文部科学省
ミルナシプランの口腔内灼熱症候群に対する臨床効果の検討	木村 宏之	精神科	1,000,000	補委	文部科学省
ヒト胎盤形成における糖転移酵素GnT-Ⅴの機能と绒毛外栄養膜細胞浸潤機構の解明	山本 英子	産科婦人科	1,700,000	補委	文部科学省
慢性心不全に対する予後予測因子の網羅的探索	平敷 安希博	検査部	1,800,000	補委	文部科学省
膀胱肝転移・腹膜播種に対するNek2siRNAによる分子標的治療の開発	高木 健司	腫瘍外科	1,500,000	補委	文部科学省
中膜平滑筋層を有した心臓血管組織再生法の開発	六鹿 雅登	心臓外科	2,000,000	補委	文部科学省
骨軟部腫瘍領域のイクイヴァレント・クロスリラクゼーション・レイト	筑紫 聰	整形外科	1,200,000	補委	文部科学省
脊髄損傷におけるケラタン硫酸の意義	伊藤 全哉	整形外科	900,000	補委	文部科学省
レニン・アンギオテンシン系に着目した卵巢過剰刺激症候群の発症機序解明と治療法開発	原田 統子	産科婦人科	1,600,000	補委	文部科学省
磁性微粒子を用いた眼内への遺伝子導入法の開発とインビボにおけるプロモーター解析	加地 秀	眼科	1,900,000	補委	文部科学省
Flatmount法を用いた毛様体・網膜幹細胞からの視細胞再生についての解析	西口 康二	眼科	1,700,000	補委	文部科学省
幹細胞を用いた骨再生医療におけるWntシグナルの影響に関する研究	片桐 渉	歯科口腔外科	1,700,000	補委	文部科学省
新規抗菌分泌タンパクFDC-SPを応用した予防医療的ハイブリット歯周治療法の開発	中村 さやか	歯科口腔外科	1,320,000	補委	日本学術振興会
再生医療の実用化の安全性・効率性に関する	上田 実	口腔外科	26,059,000	補委	厚生労働省

高齢者の終末期ケアに関する研究－各施設における標準的終末期ケアの確立に向けて	葛谷 雅文	老年科	15,746,000	(補) 委	厚生労働省
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発	後藤 百万	泌尿器科	6,732,000	(補) 委	厚生労働省
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究	祖父江 元	神経内科	30,000,000	(補) 委	厚生労働省
球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リュープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	276,841,000	(補) 委	厚生労働省
運動ニューロン変性に関わる分子の同定と病態抑止治療法の開発	祖父江 元	神経内科	46,800,000	(補) 委	厚生労働省
治験の実施に関する研究〔酢酸リュープロレリン〕	祖父江 元	神経内科	6,600,000	(補) 委	厚生労働省
老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究	祖父江 元	神経内科	17,400,000	(補) 委	厚生労働省
医療の安全性及び安全対策の評価指標の開発と有効性の検証	武澤 純	救急・集中治療医	14,800,000	(補) 委	厚生労働省
多施設共同研究に登録された白血病の検体収集と中央保存システムの確立	直江 知樹	血液腫瘍内科	10,000,000	(補) 委	厚生労働省
内外リンパ腔画像からみた内耳疾患の病態と局所療法	中島 務	耳鼻咽喉科	11,300,000	(補) 委	厚生労働省
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	高松 純樹	輸血部	6,700,000	(補) 委	厚生労働省
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	木下 朝博	血液内科	12,050,000	(補) 委	厚生労働省
変異チロシンキナーゼを標的とした白血病治療薬の開発	直江知樹	血液内科	74,000,000	(補) 委	独立行政法人 医薬基盤研究所
BMP付加細胞外マトリックスを用いた新たな骨再生法	上田実	口腔外科	8,000,000	(補) 委	独立行政法人 科学技術振興機構
統合失調症の抗精神病薬反応性に関する研究(総括)	尾崎紀夫	精神科	52,000	(補) 委	独立行政法人 科学技術振興機構
脳血管奇形に対する血管内治療の調査分析と指針作成に関する研究	宮地茂	脳神経外科	500,000	(補) 委	国立循環器病センター
心臓血管外科手術手術期における輸血療法の効率化、適正化に関する研究	上田裕一	心臓外科	3,000,000	(補) 委	国立循環器病センター
臍帯血由来前駆細胞を用いた、血管再生に関する研究	室原豊明	循環器内科	2,500,000	(補) 委	国立循環器病センター
先天性骨髄機能不全の分子遺伝学的解析	小島勢二	小児科	1,000,000	(補) 委	国立成育医療センター
脳神経外科用インテリジェント手術機器研究開発	吉田純	脳神経外科	45,000,000	(補) 委	経済産業省

高齢者の糖尿病、肥満に関する遺伝子多 骨セメントによる椎体形成術の標準化	葛谷雅文 松山幸弘	老年科 整形外科	800,000 1,250,000	補 委	国立長寿医療センター
医療費算定チームの構築	後藤百万	泌尿器科	1,000,000	補 委	国立長寿医療センター
不妊に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	周産母子センター	5,307,000	補 委	愛知県
難治性ニューロパチーの病態に基づく治療法の開発(分担課題:免疫性、遺伝性ニューロパチーの病態に基づく治療法の開発)	服部 直樹	神経内科	750,000	補 委	国立精神・神経センター
糖尿病性大血管合併症発症の予測診断を可能とするSNPsおよび可溶性マーカーの探索と治療法確立に関する試験研究	中島 英太郎	糖尿病・内分泌内科	4,000,000	補 委	独立行政法人 医薬基盤研究所
高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究	梅垣 宏行	老年科	1,500,000	補 委	国立長寿医療センター
高齢者における手術後の心身の変化と機能低下防止に関する研究	小田 高司	消化器外科	800,000	補 委	国立長寿医療センター

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leukemia	Prognostic analysis of aberrant somatic hypermutation of RhoH gene in diffuse large B cell lymphoma	Hiraga Junji	血液内科
Bone Marrow Transplant	Successful second cord blood transplantation using fludarabine and cyclophosphamide as a preparative regimen for graft rejection following reduced-intensity cord blood transplantation	Mizutani Emi	血液・腫瘍内科学
Lancet	Risk of cancer from blood donated by people with cancer	Suzuki Momoko	血液・腫瘍内科学
Biol Blood Marrow Transplant	Hematopoietic engraftment in recipients of unrelated donor umbilical cord blood is affected by the CD34+ and CD8+ cell doses	Terakura Seitaro	血液・腫瘍内科学
Transplantation	A single minor histocompatibility antigen encoded by UGT2B17 and presented by human leukocyte antigen-A*2902 and -B*4403	Terakura Seitaro	血液・腫瘍内科学
Int J Hematol	Epigenetic regulation of CD20 protein expression in a novel B-cell lymphoma cell line, RRBL1, established from a patient treated repeatedly with rituximab-containing chemotherapy	Tomita Akihiro	血液内科
Atherosclerosis	Prostacyclin synthase gene transfer inhibits neointimal formation by suppressing PPARdelta expression	今井 元	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Therapeutic Angiogenesis Using Novel Vascular Endothelial Growth Factor-E/Human Placental Growth Factor Chimera Genes	井上 夏夫	循環器内科
Am J Cardiol	Effect of Intravenous Nicorandil and Preexisting Angina Pectoris on Short- and Long-Term Outcomes in Patients With a First ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction	石井 秀樹	循環器内科
Clinical Therapeutics	Efficacy of Oral Nicorandil in Patients with End-Stage Renal Disease: A Retrospective Chart Review After Coronary Angioplasty in Japanese Patients Receiving Hemodialysis	石井 秀樹	循環器内科
Circ J	Safety and efficacy of autologous progenitor cell transplantation for therapeutic angiogenesis in patients with critical limb ischemia	梶口 雅弘	循環器内科
Europace	Acute and chronic effects of cardiac resynchronization in patients developing heart failure with long-term pacemaker therapy for acquired complete atrioventricular block	嶋野 祐之	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun	Rho-kinase modulates the function of STEF, a Rac GEF, through its phosphorylation	竹藤 幹人	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Angiotensin II Receptor Blocker Inhibits Neointimal Hyperplasia Through Regulation of Smooth Muscle-Like Progenitor Cells	山田 高彰	循環器内科

Gastrointest Endosc	Diagnosis and treatment of obscure GI bleeding at double balloon endoscopy	Ohmiya N, et al	消化器内科
Eur J Gastroenterol Hepatol	Small bowel tuberculosis diagnosed by the combination of video capsule endoscopy and double balloon enteroscopy	Nakamura M, et al	消化器内科
World J Gastroenterol	Magnifying chromoscopy, a novel and useful technique for colonoscopy in ulcerative colitis	Ando T, et al	消化器内科
Scand J Gastroenterol	Gastric GIST malignancy evaluated by 18FDG-PET as compared with EUS-FNA and endoscopic biopsy	Yamada M, et al	消化器内科
Endoscopy	Ileal cancer and erosions in the small intestine revealed by capsule endoscopy	Niwa Y, et al	消化器内科
Atlas of double balloon endoscopy	Tumours 40 Ileal adenocarcinoma	Nacki Ohmiya, et al	消化器内科
Gastrointest Endosc	Which route should we select when performing double-balloon enteroscopy?	Nakamura M, et al	消化器内科
Curr Opin Mol Ther	UGT1A1*6 and UGT1A1*27 for individualized irinotecan chemotherapy	Ando Y, Hasegawa Y.	化学療法部 呼吸器内科
J Appl Physiol	Effects of heterogeneities on the partitioning of airway and tissue	Ito S	呼吸器内科
Eur J Pharmacol	Direct effects of hydrogen peroxide on airway smooth muscle tone: Ca <sup>2+</sup> influx and Rho-kinase.	Kojima K, Kume H, Ito S, Oguma T, Shiraki A, Kondo M, Ito Y, Shimokata K	呼吸器内科
J Pharmacol Exp Ther	Sphingosine 1-phosphate causes airway hyper-reactivity by Rho-mediated myosin phosphatase inactivation	Kume H, Takeda N, Oguma T, Ito S, Kondo M, Ito Y, Shimokata K.	呼吸器内科
Med Image Comput Assist Interv Int Conf Med Image Comput Comput Assist Interv	Bronchoscope tracking without fiducial markers using ultra-tiny electromagnetic tracking system and its evaluation in different environments	Mori K, Deguchi D, Ishitani K, Kitasaka T, Suenaga Y, Hasegawa Y, Imaizumi K,	呼吸器内科、名古屋大学工学部
Clin Exp Allergy	Roles of P2X receptors and Ca <sup>2+</sup> sensitization in extracellular adenosine triphosphate-induced hyperresponsiveness in airway smooth muscle.	Oguma T, Ito S, Kondo M, Makino Y, Shimokata K, Honjo H, Kamiya K, Kume H	呼吸器内科
Respirology	Macrophage-derived chemokine in malignant and tuberculous pleurisy	Okamoto M, Imaizumi K, Hasegawa Y, Hashimoto N, Sumida A, Shibasaki M, Takagi K, Shimokata	呼吸器内科 名古屋大学保健学科
Respirology	Real-time endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration is useful for diagnosing sarcoidosis.	Oki M, Saka H, Kitagawa C, Tanaka S, Shimokata T, Kawata Y, Mori K, Kajikawa S, Ichihara	呼吸器内科

Clin Exp Allergy	Effects of Rho-kinase inactivation on eosinophilia and hyperreactivity in murine airways by allergen challenges	Taki F, Kume H, Kobayashi T, Ohta H, Aratake H, Shimokata K	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌	間質性肺炎におけるmyeloperoxidase antineutrophil cytoplasmic antibodyの陽性率と予後の検討。	白木 晶、安藤守秀、進藤丈、安部崇、若原恵子、牧野靖、浅野俊明、中島治典、長谷哲成、下方薰	呼吸器内科
Mol Ther	Downregulation of monocyte chemoattractant protein-1 involving short interfering RNA attenuates hapten-induced contact hypersensitivity	石本 卓嗣	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant	Intrarenal administration of recombinant human soluble thrombomodulin ameliorates ischaemic acute renal failure	尾崎 武徳	腎臓内科
Lab Invest	Midkine is involved in tubulointerstitial inflammation associated with diabetic nephropathy	小杉 智規	腎臓内科
Am J Kidney Dis	High levels of complement C3a receptor in the glomeruli in lupus nephritis	水野 正司	腎臓内科
Int J Urol	Effects of olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on ischemic acute renal failure	シャブーク・アナス	泌尿器科
Transplantation	Alternative strategy for overcoming ABO incompatibility	小林 孝彰	免疫機能制御学寄附講座
Mol Cancer Ther.	In vivo silencing of a molecular target by short interfering RNA electroporation: tumor vascularization correlates to delivery efficiency.	武井 佳史	神経疾患・腫瘍分子医学研究センター
Ann Surg. 2007;246(6): 1052-	Surgical approach to Bismuth type I and II hilar cholangiocarcinoma: audit of 54 consecutive cases	Ikeyama T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Ann Surg. 2007;246(5): 794-8	Intraportal bile duct of the caudate lobe: a troublesome anatomic variation	Sugiura T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Cancer Res. 2007;67(20): 963	Nek2 as an effective target for inhibition of tumorigenic growth and peritoneal dissemination of	Kokuryo T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	Recent advances in the treatment of hilar cholangiocarcinoma: portal vein embolization	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Shock. 2008;29(6):688-91	Up-regulated thromboxane production in the rat liver with biliary obstruction does not contribute to promote hepatic injury	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Surg Today. 2007;37(10):823-	Which gender is better positioned in the process of liver surgery? Male or female?	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine

Surgery. 2007 142(2):136-42	Clinicopathologic features of re-resected cases of intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMNs)	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
World J Surg. 2007 31(10):200	Pancreatic and duodenal invasion in distal bile duct cancer: paradox in the tumor classification of the American Joint Committee on Cancer	Ebata T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	Aggressive surgery for stage IV gallbladder carcinoma; what are the contraindications?	Nishio H	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Biochem Biophys Res Commun	SIRPalpha1 and SIRPalha2: their role as tumor suppressors in breast carcinoma cells	Yamasaki Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Shock. 2007 Jul;28(1):35-8	Hyperlactemia can predict the prognosis of liver resection.	Watanaba I	Department of Emergency Medicine and Critical Care, Nagoya University School of Medicine
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	Mechanism of impaired hepatic regeneration in cholestatic liver	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
J Hepatobiliary Pancreat Surg.	Right hepatojunctoduodenectomy: improvements over 23 years to attain acceptability	Ebata T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Oncogene. 2007 Sep 6;26(41):	Apoptosis induction by antisense oligonucleotides against miR-17-5p and miR-20a in lung cancers overexpressing miR-17-92	Matsbara H	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Arch Surg. 2008 Mar;143(3):23	Sex dimorphism in the outcome of preoperative right portal vein embolization	Yokoyama Y	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Ann Surg. 2007 Aug;246(2):22	Activities of daily living and quality of life of elderly patients after elective surgery for gastric	Amemiya T	Division of Surgical Oncology, Nagoya Postgraduate School of Medicine
Bone	Transplantation of culture expanded bone marrow cells and platelet rich plasma in distraction osteogenesis of the long bones	鬼頭浩史	整形外科
Acta Orthopaedica	The effect of recombinant human bone morphogenetic protein-2 on osteogenic potential of rat mesenchymal stem cells after several passages	石川尚人	整形外科
Journal of Pediatric Orthopaedics	Distraction osteogenesis of the lower extremity in patients with achondroplasia/hypochondroplasia treated with transplantation of culture expanded bone marrow cells and platelet rich plasma	鬼頭浩史	整形外科
Journal of Bone and Joint Surgery	The effect of the platelet concentration in platelet-rich plasma gel on the regeneration of bone	川澄本明	整形外科
Osteoarthritis Cartilage	Calcification of human articular knee cartilage is primarily an effect of aging rather than osteoarthritis	光山浩人	整形外科

J Hand Surg [Am]	Load transmission through the wrist in the extended position.	馬島 雅高	手の外科
J Clin Neurosci	Chondroitinase ABC enhances axonal regeneration across nerve gaps.	服部 達哉	手の外科
J Hand Surg [Am]	Radial osteotomy for Kienböck's disease with displaced fracture of the lunate.	建部 将広	手の外科
J Shoulder Elbow Surg	Ultrasonographic examination of the synovial fold of the radiohumeral joint.	洪 淑貴	手の外科
J Hand Surg [Am]	Repair of the triangular fibrocartilage complex after ulnar-shortening osteotomy:second-look arthroscopy.	建部 将広	手の外科
J Shoulder Elbow Surg	Treatment of chronically dislocated elbows: a report of three cases.	馬島 雅高	手の外科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(7) 2007年8月	Preservation of Macular Oscillatory Potentials in Eyes of Patients with Retinitis Pigmentosa and Normal Visual Acuity.	寺崎浩子	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 49(2) 2008年2月	Retardation of photoreceptor degeneration in the detached retina of rd1 mouse.	寺崎浩子	眼科
Curr Eye Res 33(1) 2008年1月	Photopic electroretinograms of mGluR6-deficient mice.	寺崎浩子	眼科
Neuroscience 148(1) 2007年8月	Survival and axonal regeneration of off-center retinal ganglion cells of adult cats are promoted with an anti-glaucoma drug, nipradilol, but not BDNF and CNTF.	寺崎浩子	眼科
Ophthalmology 114(9) 2007年9月	Elevated C-reactive protein levels in patients with polypoidal choroidal vasculopathy and patients with neovascular age-related macular degeneration.	中村 誠	眼科
Clin Exp Ophthalmol 35(8) 2007年9月	Abnormalities of visual-evoked potentials and pupillary light reflexes in a family with autosomal dominant occult macular dystrophy.	近藤峰生	眼科
Retinal Cases & Brief Reports 1(4) 2007年4月	Intravitreal bevacizumab (avastin) for persistent macular edema in vitrectomized eyes: limited effect and early recurrence.	近藤峰生	眼科
Vision Res 48(2) 2008年2月	Comparison of focal macular cone ERGs in complete-type congenital stationary night blindness and APB-treated monkeys.	近藤峰生	眼科
Doc Ophthalmol 116(1) 2008年1月	ISCEV guidelines for clinical multifocal electroretinography.	近藤峰生	眼科

Eur J Ophthalmol 18(1) 2008年1月	Analysis of progressive ophthalmic lesion in a patient with subacute sclerosing panencephalitis.	近藤峰生	眼科
Retinal Cases & Brief Reports 2(3) 2008年3月	Acute bilateral peripheral cone system dysfunction.	近藤峰生	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(9) 2007年9月	Reduction of inner retinal thickness in patients with autosomal dominant optic atrophy associated with OPA1 mutations.	伊藤逸毅	眼科
FASEB J 21(12) 2007年12月	The SDF-1/CXCR4 ligand/receptor pair is an important contributor to several types of ocular neovascularization.	加地 秀	眼科
Mol Ther 15(11) 2007年11月	Gene transfer of an engineered zinc finger protein enhances the anti-angiogenic defense system.	加地 秀	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(7) 2007年7月	Ocular gene transfer with self-complementary AAV vectors.	加地 秀	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(5) 2007年5月	Correlation between focal macular electroretinograms and angiographic findings after photodynamic therapy.	石川浩平	眼科
Jpn J Ophthalmol 52(3) 2008年3月	New Algorithm to analyze tomographic images quantitatively.	石川浩平	眼科
Hum Mutat 28(6) 2007年6月	Retinopathy mutations in the bZIP protein NRL alter phosphorylation and transcriptional activity.	西口康二	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 48(9) 2007年9月	The role of VEGF and VEGFR2/Flik1 in proliferation of retinal progenitor cells in murine retinal degeneration.	西口康二	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 49(1) 2008年1月	Identification of photoreceptor precursors in the pars plana during ocular development and after retinal injury.	西口康二	眼科
Mol Cell Biol 27(23) 2007年12月	Functional roles of Otx2 transcription factor in postnatal mouse retinal development.	上野真治	眼科
Exp Eye Res 85(2) 2007年8月	Subretinal transplantation of bone marrow mesenchymal stem cells delays retinal degeneration in the RCS rat model of retinal degeneration.	上野真治	眼科
J Hum Genet	Gap junction coding genes and schizophrenia: a genetic association study.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Association study of polymorphisms in the glutamate transporter genes SLC1A1, SLC1A3, and SLC1A6 with schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部

Mol Psychiatry	Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide is associated with schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Genes Brain Behav	Possible association of beta-arrestin 2 gene with methamphetamine use disorder, but not schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Schizophr Res	No association between the glutamate decarboxylase 67 gene (GAD1) and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Schizophr Res	RGS4 is not a susceptibility gene for schizophrenia in Japanese: association study in a large case-control population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neurosci Res	PICK1 is not a susceptibility gene for schizophrenia in a Japanese population: Association study in a large case-control population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Clin Neuropharmacol	Successful Treatment of Trigeminal Neuralgia With Milnacipran.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neurosci Lett	Failure to confirm the association between the FEZ1 gene and schizophrenia in a Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neuroreport	Association study between the transferrin gene and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Psychiatr Genet	Association of SOX10 with schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Am J Psychiatry	Identification of Functional Polymorphisms in the Promoter Region of the Human PICK1 Gene and Their Association With Methamphetamine Psychosis.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Synapse	Suppressive effect of paroxetine, a selective serotonin uptake inhibitor, on tetrahydrobiopterin levels and dopamine as well as serotonin turnover in the mesoprefrontal system of mice.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neuropsychopharmacology	A Promoter Haplotype of the Inositol Monophosphatase 2 Gene (IMPA2) at 18p11.2 Confers a Possible Risk for Bipolar Disorder by Enhancing Transcription.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Psychiatry Res	The new GRID Hamilton Rating Scale for Depression demonstrates excellent inter-rater reliability for inexperienced and experienced raters before and after training.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
J Biosci Bioeng	Association study between Apolipoprotein L and schizophrenia by exhaustive and rule-based combination analysis for identification of multilocus interactions.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Neurosci Lett	Gene-gene interaction analysis of personality traits in a Japanese population using an electrochemical DNA array chip analysis.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部

Pharmacopsychiatry	Successful treatment of severe antidepressant-induced nausea with a combination of milnacipran and olanzapine.	尾崎紀夫	精神科・親と子どもの心療部
Int J Hematol 85(5):437-442, 2007	Feasibility and results of bone marrow transplantation from an HLA-mismatched unrelated donor for children and young adults with acquired severe aplastic anemia.	谷ヶ崎博	小児科
Leuk Res 31(8): 1045-51, 2007	Increased midkine gene expression in childhood B-precursor acute lymphoblastic leukemia.	日高啓量	小児科
治療 89:3227-3230, 2007	【薬物による健康障害 肺・肝・血液・皮膚】血液 薬物による汎血球減少症	小島勢二	小児科
平成18年度厚生労働省科学研究費補助金 特発性造血障害に関する調査研究班報告書、pp63, 2007	小児再生不良性貧血患者におけるテロメラーゼ複合体異常にに関する研究	小島勢二	小児科
診療 89:2463-2467, 2007	小児の貧血の診かた	村松秀城	小児科
全国骨髓バンク推進連絡協議会編、pp97-1040, 2007	小児再生不良性貧血 白血病と言われたら	小島勢二	小児科
小児科 48:329-336, 2007	発作性夜間ヘモグロビン尿症	高橋義行	小児科
小児科診療 増刊 症候からみた小児の診断学70 (suppl): 461-463, 2007	脾腫	西尾信博	小児科
Allergy 62: 1218-1219, 2007	Autoimmune urticaria at 3 years of age diagnosed by puncture skin test using autologous serum	木村量子	小児科
アレルギー・免疫 14: 916-921, 2007	シックハウス症候群と自律神経	坂本龍雄	小児科
新薬と臨床 56: 1119-1126, 2007	小児慢性蕁麻疹の3症例にみる“脳内移行性の低い第二世代抗ヒスタミン薬”的有用性	後藤志歩	小児科
愛知県小児科医会会報 85: 48-51, 2007	TNF- $\alpha$ に対する抗体療法を試みた若年性特発性関節炎の1女児例	木村量子	小児科
Pediatr Res 62: 93-7, 2007	The MRI findings of the right-sided fetal lung can be used to predict postnatal mortality and the requirement for extracorporeal membrane oxygenation in isolated left-sided congenital diaphragmatic hernia.	早川昌弘	小児科
Sato Y., Fukasawa T., Hayakawa M., Yatsuya H., Hatakeyama M., Ogawa A., Kuno K.	A new method of blood sampling reduces pain for newborn infants: a prospective, randomized controlled clinical trial.	佐藤義朗	小児科

臨床脳波 49: 473-478, 2007	新生児合併症と脳波成熟遅延	早川昌弘	小児科
周産期医学 37: 511-514, 2007	超低出生体重児の頭蓋内病変と予後	早川昌弘	小児科
小児科診療 70: 172-175, 2007	【症候からみた小児の診断学】新生児特有の症候 けいれん	早川昌弘	小児科
周産期医学 37: 43-46, 2007	【新生児の基本管理マニュアル】新生児室での基本管理 神経学的所見の評価	早川昌弘	小児科
Brain Dev 29(8):519-521, 2007	Transient splenial lesions in children with "benign convulsions with gastroenteritis".	夏目 淳	小児科
Acta Neurol Scand 115(4): 25-28, 2007	Hippocampal volumes and diffusion weighted image findings in children with prolonged febrile seizures.	夏目 淳	小児科
Epilepsia 48(Suppl.6): 169, 2007	Diffusion Weighted Image Abnormalities and Glucose Hypometabolism in Patients with Prolonged Febrile Seizures.	夏目 淳	小児科
J Gen Virol, 88(3):770-780, 2007	Full-length EBNA1-mRNA-transduced dendritic cells stimulate CTLs recognizing a novel HLA-Cw*0303 and Cw*0304-restricted epitope on EBNA1-expressing cells.	伊藤嘉規	小児科
血液・腫瘍科 54:74-80, 2007	EBウイルス: 慢性活動性EBウイルス感染症の病態と治療.	伊藤嘉規	小児科
Birth Defects Res (Part A) 79:680-684, 2007	Aplasia cutis congenital with skull defect in a monozygotic twin after exposure to methimazole in utero.	岩山秀之	小児科
今日の移植 20巻576-8, 2007	シクロスボリンによる尿細管細胞障害におけるTGF- $\beta$ 1/smadsシグナルの役割と成長因子の効果	岩山秀之	小児科
J Invest Dermatol	Ten novel mutations of the ADAR1 gene in Japanese patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria	Noriyuki Suzuki, et al.	皮膚科
Clin Exp Rheumatol	Results of the health assessment questionnaire for Japanese patients with systemic sclerosis-measuring functional impairment in systemic sclerosis versus other connective tissue diseases	Yukiko Morita, et al	皮膚科
臨床皮膚科	眼皮膚白皮症4型の1例	飯島亜由子、他	皮膚科
皮膚病診療	遺伝性対側性色素異常症—ADAR1遺伝子に新規変異(c.1798C>T)を認めた症例—	福本沙緒理、他	皮膚科

J Cutan Pathol	Apocrine cystadenoma and apocrine hidrocystoma: examination of 21 cases with emphasis on nomenclature according to proliferative features	Akiko Sugiyama, et al	皮膚科
J.Endourol	Laparoscopic partial nephrectomy in upper-pole apical renal tumor using gauze and flexible laparoscope	TS.Kim,R.Hattori,Y.yoshino	泌尿器科
Int.J.Medical Robotics and Computer Assisted Surgery	Autonomous catheter insertion system using magnetic motion capture sensor for endovascular surgery	C.Terocero,S.Ikeda et al	泌尿器科
Jpn.Endourol.ESWL	Laparoscopic radical nephrectomy for locally advanced renal cell carcinoma	F.Tsuchiya,R.Hattori et al	泌尿器科
Radiat Med	Direct comparison study between FDG-PET and IMP-SPECT for diagnosing Alzheimer's disease using 3D-SSP analysis in the same patients	NIHASHI Takashi	放射線科
Radiat Med	Usefulness of FDG PET for diagnosis and radiotherapy of the patient with malignant lymphoma involving bone marrow	NIHASHI Takashi	放射線科
Abdom Imaging	CT depiction of small arteries in the pancreatic head: assessment using coronal reformatted images with 16-channel multislice CT	ISHIGAKI Satoko	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Risk factors for neovascular glaucoma after carbon ion radiotherapy of choroidal melanoma using dose-volume histogram analysis	HIRASAWA Naoki	放射線科
Proc.Intl.Soc.Mag.Reson.Med	Contrast-enhanced MR imaging of the brain using T1- FLAIR with BLADE compared with a conventional spin-echo sequence	NAGANAWA Shinji	放射線科
Eur Radiol	Contrast-enhanced MR imaging of the brain using T1-weighted FLAIR with BLADE compared with a conventional spin-echo sequence	NAGANAWA Shinji	放射線科
Neurol Med Chir (Tokyo)	Efficacy of temozolomide is correlated with 1p loss and methylation of the deoxyribonucleic acid repair gene MGMT in malignant gliomas.	Ishii D	脳神経外科
Neurosci Lett	The free-radical scavenger edaravone restores the differentiation of human neural precursor cells after radiation-induced oxidative stress.	Ishii J	脳神経外科
Neurosurgery	Genetically heterogeneous glioblastoma recurring with disappearance of 1p/19q losses: case report	Ito M	脳神経外科
J Neurosurg	Malignant transformation-related genes in meningiomas: allelic loss on 1p36 and methylation status of p73 and RASSF1A.	Nakane Y	脳神経外科
Cancer Chemother Pharmacol	A combination of IFN-beta and temozolomide in human glioma xenograft models: implication of p53-mediated MGMT downregulation	Natsume A	脳神経外科

Gene Ther	Human neural stem cells target and deliver therapeutic gene to experimental leptomeningeal medulloblastoma	Shimato S	脳神経外科
Neurosci Lett	Intravenously transplanted human neural stem cells migrate to the injured spinal cord in adult mice in an SDF-1- and HGF-dependent manner	Takeuchi H	脳神経外科
J Neurooncol	Inhibition of Aurora-B function increases formation of multinucleated cells in p53 gene deficient cells and enhances anti-tumor effect of temozolomide in human glioma cells	Tsunoo T	脳神経外科
J Neurosurg	Identification of an HLA-A24-restricted T-cell epitope derived from a glioma-associated antigen, interleukin 13 receptor alpha 2 chain	S Shimato	脳神経外科
Int J Cancer	The DNA demethylating agent 5-aza2'-deoxycytidine activates NY-ESO-1 antigenicity in orthotopic human glioma	Natsume A	脳神経外科
The Journal of Gene Medicine	A phase I clinical trial of interferon-beta gene therapy for high-grade glioma: novel findings from gene expression profiling and autopsy	T Wakabayashi	脳神経外科
Neurosurgery	p16 promoter methylation in the serum as a basis of the molecular diagnosis of gliomas	Wakabayashi T	脳神経外科
Neuroradiology	Long term results of the embolization for unruptured cerebral aneurysms Interventional	Miyachi S	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Dural arteriovenous fistula at the anterior condylar confluence	Miyachi S	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Modified Seatbelt & Airbag protection method for carotid stenting	Miyachi S	脳神経外科
Neurosurgery	Thrombophilic abnormalities among patients with cranial dural arteriovenous fistulas	Izumi T	脳神経外科
Surgical Neurology	The relationship between venous hypertension and expression of vascular endothelial growth factor: Hemodynamic and immunohistochemical examinations in a rat venous hypertension model	Kojima T	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	The current status of treatment strategies for cerebral aneurysms in Nagoya University and affiliated hospitals based on a questionnaire survey	Izumi T	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Prediction of the hypotension after carotid artery stenting using IUS, Virtual histology	Tsurumi A	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Selective propofol injection into middle cerebral artery to determine hemispheric language dominance in brain tumor patients - technical note -	Kinkori T	脳神経外科

Interventional Neuroradiology	Intentional occlusion of the ophthalmic artery in the embolization of carotid aneurysms	Hososhima O	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	The effectiveness of super-selective 3D-DSA for dural arteriovenous fistula	Izumi S	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	An assessment of anxiety in patients with neuroendovascular treatment	Matsubara N	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Significance of the monitoring of blood pressure after CAS: Correlation between postoperative ischemic lesions and hypertension	Tsurumi A	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	The long-term prognosis of extracranial carotid artery stenting	Izumi S	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Endovascular treatment of distal anterior cerebral artery aneurysm	Kojima T	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	A novel force sensor of coil delivery wire	Hososhima O	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	Additional coil embolization following for the recurrent saccular intracranial aneurysms	Ohshima T	脳神経外科
Interventional Neuroradiology	The risk of aneurysmal rupture: the importance of neck position – assessment using the computational flow simulation	Ohshima T	脳神経外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2005. Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery	上田 裕一	心臓外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann	Results of isolated valve replacement in hemodialysis patients	加藤 瓦	心臓外科
Circ J	Right ventricular end-diastolic volume in the postoperative care of cardiac surgery patients: a marker of the hemodynamic response to a fluid challenge	徳田 順之	心臓外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Type B aortic dissection associated with coarctation of the aorta	加藤 瓦	心臓外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Aortic arch aneurysm of Takayasu arteritis associated with end	荒木 善盛	心臓外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Entirely polytetrafluoroethylene coating for pacemaker system	爲西 順則	心臓外科

Multimedia Manual of Cardiothoracic Surgery	Arch first technique under deep hypothermic circulatory arrest with retrograde cerebral perfusion.	碓氷 章彦	心臓外科
臨床研究プラクティス	医療におけるリスクマネジメントとは何か？	上田 裕一	心臓外科
体外循環と補助循環 2007 第23回教育セミナー	胸部大動脈手術の体外循環	上田 裕一	心臓外科
ハートナーシング	Patient Safety Action	上田 裕一	心臓外科
第60回日本胸部外科学会 Postgraduate Course 胸部外科Up to Date 2007	急性A型大動脈解離の治療戦略	上田 裕一	心臓外科
現代医学	弓部大動脈瘤—最近の外科的治療	大島 英揮	心臓外科
現代医学	B型大動脈解離	碓氷 章彦	心臓外科
日本小児循環器学会雑誌	小児無輸血開心術術:研究会の役割とサーベイの意義	上田 裕一	心臓外科
心臓	第21回不整脈外科研究会 卷頭言	上田 裕一	心臓外科
Ann Thorac Surg	Spontaneous Restoration of Patency in the Free Gastroepiploic Artery Graft: The Living Transplanted Vascular System for Coronary Revascularization	江田 匡仁	心臓外科
Infection control and Hospital Epidemiology	Incident and Outcomes of Ventilator-Associated Pneumonia in Japanese Intensive Care Units: The Japanese Nosocomial Infection Surveillance System	Suka M, Yoshida K, Uno H, Takezawa J	集中治療部
日本腹部救急医学会雑誌	特集「急性脾炎の診療ガイドライン」によって診療行為がどう変わったか? 急性脾炎の診療ガイドライン後最新知見	真弓俊彦、渡邊 出、小野寺睦雄、有嶋拓郎、高橋英夫、武澤 純	集中治療部
Medical Technology	病院感染対策にかかるサーベイランス 6.全国的サーベイランスの現状とあきらかになったこと 3)集中治療部門サーベイランス	武澤 純	集中治療部
環境感染	病院情報システムを活用した院内感染サーベイランスに関する検討	須賀万智、吉田勝美、武澤 純	集中治療部
Environmental Health and Preventive Medicine	Epidemiological approach to nosocomial infection surveillance date : the Japanese Nosocomial Infection Surveillance System	Suka M, Yoshida K, Takezawa J	集中治療部

日本外科感染症学会雑誌	急性肺炎における免疫強化療法	真弓俊彦、渡邊 出、 福地正仁、都築通 孝、小野寺睦雄、鈴 木秀一、有嶋拓郎、 高橋英夫、武澤 純	集中治療部
-------------	----------------	---	-------

計195

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものと記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松尾清一
管理担当者氏名	副病院長 石黒直樹 医療の質・安全管理部長 後藤百万 薬剤部長 山田清文 総務課長 大岩淳一 医事課長 長谷川浩一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	中央管理	疾病分類 ICD-10 管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理(一部紙媒体にて保存)
処方せん 病院日誌		薬剤部 総務課	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 医事課 医事課 総務課 総務課・医事課 医事課 医事課・薬剤部	
確規 保則 の第 状9 況條 の2 及 3 及 1 各 1 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療の質・安全管理部 総務課 医療の質・安全管理部 医事課 医療の質・安全管理部 医療の質・安全管理部 医療の質・安全管理部 医療の質・安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医療の質・安全管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	臨床工学技術部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

## (様式第13)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

## ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 野間 省二
閲覧担当者氏名	総務課長 大岩 淳一 医事課長 長谷川 浩一 医療サービス課長 川島 秀司
閲覧の求めに応じる場所	総務課（中央診療棟7階） 医事課（外来診療棟1階） 医療サービス課（中央診療棟4階）

## ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 2 件
閲 覧 者 別	医 師 延 2 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

## ○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	6 4 . 5 %	算 定 期 間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			1 4 , 5 9 4 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			1 4 , 1 7 2 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			7 0 9 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			3 1 , 5 2 6 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員： 専任(2名) 兼任(17名) ・ 活動の主な内容： : インシデント・医療事故情報の収集・スクリーニング及び事実関係の調査に関する事項。 : インシデント・医療事故の分析について中心的役割を果たし、根本原因を究明すること。 : 医療事故発生時の現場の記録、関係者間の調整に関する事項。 : 医療安全と医療の質向上について調査・研究を行い、病院全体のシステム改善のための提言を行うこと。 : 医療安全と医療の質向上に係る教育研修に関する事項。 : 医療の質向上と安全推進委員会その他医療の質・安全管理関連の会議で用いられる資料及び議事録の作成・保存に並びに会議の庶務に関する事項。 : その他医療の質向上と安全推進に関する事項。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： : 医療安全管理に対する基本的な考え方 : 医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制 : 医療の安全に関する職員計画 : 医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針 : 指針の閲覧に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
・ 活動の主な内容： : 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項 : 医療上の紛争処理に関する事項 : 医療の質向上に関する事項	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 24 回
・ 研修の主な内容： : 全職員を対象とした医療安全研修「是非とも教えて欲しい 今、私たちがなすべきことは何か?」「防ごう!末梢静脈カテーテル感染」「暴力対応について」「院内救急カートの統一について」「部門紹介 臨床工学技術部」などの講演等を実施 : 新規・中途採用者職員について採用時に「病院の理念」「感染管理」「インシデント報告システム」等の医療安全研修を実施	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善の方策の主な内容： : 院内統一救急カートの整備 (#99緊急コール対応時に備えて)	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容 :</li> <li>  : 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>  : 院内感染対策のための委員会と組織</li> <li>  : 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項</li> <li>  : 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>  : 院内感染症発生時の対応に関する基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容 :</li> <li>  : 院内感染の予防及び対策等に関する事項</li> <li>  : 患者の取扱に関する事項</li> <li>  : 医療従事者への感染予防に関する事項</li> <li>  : その他院内感染及び難治感染症対策に関する事項</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 24回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容 :</li> <li>  : 研修内容は医療に係る安全管理のための職員研修内容と同じ。</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有 )</li> <li>・ その他の改善の方策の主な内容 :</li> <li>  : 医療従事者に対する病院ウイルス感染症対策の見直しと整備</li> </ul>	

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 :	
昨年度は全職員対象の安全管理研修において、院内統一救急カード内の薬剤および運用について取り上げた。またこれら以外では、新規採用看護師に対して「予約・麻薬管理」「要注意薬剤」、医師、看護師に対して静脈注射に関する講習でも薬剤知識の講義を行っている。その他、各病棟や部門などでの勉強会など多数行っている。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( (有)・無 )	
・ 業務の主な内容 :	
手順書に基づく業務の実施に関しては毎年秋期に行われる国立大学病院相互チェックの際の自己評価時に行うようにしており、昨年度のチェックでは概ね基準を満たしていた。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( (有)・無 )	
・ その他の改善の方策の主な内容 :	
医薬品に関する情報は薬剤部薬品情報室を中心として厚生労働省をはじめ関係各所から発せられる情報を書面、WEBなどを利用し、あるいは各製薬会社から直接入手することで情報収集を行っている。収集した情報の中で病院職員に周知させることが望ましいと考えられるものについては、メーリングリストを利用し病院職員へ通知すると共に、各病棟・診療科への印刷物配布も行っている。また、それらの情報の中でも非常に重要な内容を含むものには医療の質・安全管理部と共同で医局会、リスクマネージャー会、師長会などでの通知も行っている。	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 40 回
・ 研修の主な内容：人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、低圧持続吸引器 など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無)	
・ 保守点検の主な内容：定期点検、日常点検、消耗品交換（機器ごとにカルテを作成し実施）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	(有・無)
・ 医療機器に係る情報の収集の整備	
・ その他の改善の方策の主な内容：機器に不具合を生じた場合は、その機器と機器不具合報告書から原因を追求し、現場へ改善策等を伝えてます。また、院内広報システムを利用し、端末から医療機器のトラブルシューティングやマニュアルを掲載しています。さらに、臨床工学技術部より医療機器の安全情報を月刊広報紙として配布しています。	